

「さくら猫」活動について（報告）

さくら猫活動は、飼い主のいない猫の問題を殺処分ではなく不妊手術によって解決しようとする活動です。

不妊手術を施した証拠として、猫の耳をカットしますが、その形が桜の花びらに見えることから「さくら猫」と呼ばれています。

2013年ほどから異東地域では、地域のボランティアの皆さんが手術費用の負担もしながら活動をおこなってきましたが、この度、異東社会福祉協議会と大阪市生野区社会福祉協議会の共催事業として実施し、公益財団法人どうぶつ基金に申請し、ボランティア登録をしました。基金からは手術にかかる経費を助成していただいております。

活動の流れ…

- ① 捕獲器に餌をセットし仕掛け猫が入るのを待ちます
- ② 捕獲器に猫が入ったら布カバーを掛け落ち着かせます。
- ③ 一晩絶食（全身麻酔の為）で留め置き翌朝病院へ搬送し預けます。
- ④ 当日夜に手術を終えた猫を迎えに行き深夜お水とフードを与え、麻酔覚醒の为一晩安静にさせます。
- ⑤ 翌朝、猫の状態を確認し元の場所に戻してあげます。

★平成30年度は60匹がさくら猫になり、平成31年4月は6匹がさくら猫になりました。

★公益財団法人どうぶつ基金より、さくら猫無料不妊手術チケットを本年度もいただけることになりました！今後も地域の課題ととらえて活動を実施します。

【異東ふれあい祭りでの猫ボランティアブースにて、さくら猫啓発の様子】

